

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	夢のヒント	事務局	141
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	竹田ののか

「仕事体験、どこに応募しよう。」仕事の求人票が貼られていく中、色々な仕事に興味があった私はとても悩みました。悩みに悩んだ末、私は昔からお菓子を食することが大好きだったので、深田菓子舗というお菓子屋さんに応募することにしました。

深田菓子舗へ仕事体験に行くまでの道のりは、本当に長い道のりでした。初めにマナーアップ講座を受け、礼儀を学びました。お辞儀の角度、ノックの回数など、講師の方にたくさん教えていただきました。次にエントリーシートの作成をしました。実際の面接と同じようにするとこのことで、誤字脱字に気を付けました。そして採用面接を受けました。とても緊張しましたが、無事合格することができました。

待ちに待った仕事体験当日。わくわくと緊張と、自分に上手くできるのかという不安でいっぱいでした。事業所の方々にあいさつと自己紹介をした時、緊張してあまりうまく言えませんでした。が、事業所の方々が笑顔で迎えてくださったことで、とても安心しました。

私たちに与えられた最初の仕事は、花がら摘みと草むしりと枯葉掃きでした。最初は「お店の外も掃除するの？」とびっくりしました。ですが、やっているとどんどん楽しくなり、気づいたら夢中になっていました。事業所の方が、「お客さんがきれいだなあとと思うと、お店の印象がよくなるから、お店の周りもきれいにしています。」とおっしゃっていました。お店の中だけでなく、お店の外でも努力や工夫がされていてすごいなと感動しました。私も、周りをきれいにすることで心もきれいになったと感じました。

次に、店内のお菓子の説明を聞きました。どれもとてもおいしそうでした。洋菓子と和菓子のどちらも売られており、季節によって変わる上生菓子がとても美しく感動しました。さらにレジ打ちをしました。お金の計算やお菓子の梱包がとても難しかったです。ですが、事業所の方は忙しいにも関わらず丁寧に教えてくださいました。

また、ホールケーキ作りの見学をしました。とても手際よく、きれいに、そして丁寧に作られていたことが、とても素晴らしかったです。最後に袋のシール貼りと梅ようかんの箱詰めをしました。シールを貼るときは曲がらないように、しわをつけないように注意して貼りました。梅ようかんの箱詰めは、最初は苦戦しましたが、やっていくうちにだんだんコツをつかんでいきました。早くできるようになっていくのが、すごく楽しかったです。事業所の方が、「お！コツをつかんできましたね！」と褒めてくださったのがうれしかったです。こうやって私たち消費者の手に届いているんだなと感動しました。これも仕事のやりがいの一部なのかなと私は思いました。これで1日目終了しました。

1日目の仕事体験を終えて、AIや機械の発展が進んでいる中、深田菓子舗ではすべて手作業で仕事をされていることに驚きました。私は実際にやってみて、すごく疲れるし、集中力がないとできない仕事だなと思いました。そして、とても明るくて楽しい職場だなと思いました。事業所の方々の明るいあいさつを聞くと、自分も明るい気持ちになれました。

2日目はほとんど1日目と同じ仕事内容でした。黙々と作業をするので、集中力を働かせて頑張りました。2日目の最後には、楽しみにしていた上生作り（和菓子）体験をさせていただきました。

した。とても楽しく良い体験になりました。初めての体験だったので難しかったですが、事業所の方が丁寧に優しく教えてくださり、練習していくうちにどんどん上手にできるようになりました。とても充実した仕事体験ができたと感じました。そして、深田菓子舗を体験場所を選んで本当に良かったなど改めて思いました。

以前の私にとって働くとは、周りや地域の人たちが幸せに、充実した生活を送れるように、自分で努力し、その対価としてお金をもらうということでした。しかし、仕事体験を通して、自分だけでできることは少ないと気づきました。食べ物を売るまでには色々な過程があり、それを1人でこなすのは、とてもじゃないけれど無理だと感じたからです。ですが、一緒に仕事ができる仲間がいたら、自分にはできないことができたり、自分には無い物をもっている人たちで力を合わせたりして、色々なアイデアが出せると思います。そうやって色々な壁を越えていけると思います。結果、お金よりも価値の高い大切な経験を、仕事をすることで得られるのではないかと考えました。仕事をすることによって、大きな自己成長もできるとともに、自分の能力を最大限に発揮することができるのではないかと私は思います。この経験を、自分の将来の道を選ぶ際のヒントにし、将来の夢に活かして頑張っていきたいです。

最後に、事業所の方にインタビューをしたとき、私は「新庄市にこれからどんな市になってほしいですか？」とお聞きしました。それに対し事業所の方は、「色々な世代の人が幸せに暮らせる市になってほしい。」と答えてくださいました。その願いを叶えられるように私たちが今後の新庄市を支え、幸せに暮らせるようにしていきたいと強く思いました。